



3月 町屋幼稚園だより

令和7年2月28日
荒川区立町屋幼稚園
園長 関川 浩

さらに高みを目指して

園長 関川 浩

先日、東京都公立幼稚園・子ども園教育研究会の研究発表会で、本園の先生方が町屋幼稚園のこれまでの取組を発表する機会をいただきました。発表の内容は、町屋幼稚園と七峽小における「遊び」と「学び」とをつなげる工夫です。発表に対して講師の先生から講評をいただきました。お褒めいただいたことも多く、うれしく思いました。実践を発表できましたのも保護者・地域の皆様のご支援があつてのことです。ここに感謝申し上げます。

講評の中で心に残ったことがあります。それは幼稚園で大切にしている「遊び」が、「何かに没頭すること」「夢中になること」につながり、それが「学びへの主体性」、講師の先生のお言葉をお借りすれば「子どもの生命力」を高めていくというご指摘です。発表会終了後は、本園の先生方とこれまでの実践を基にそれに磨きをかけながら、理想の園づくりを目指していこうと誓い合いました。

大好きな「いるか組」「ひよこ組」の子どもたちの成長を願いながら、日々の教育活動に取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

<今月のねらい>

- 【年 少】 ○進級することを知り、みんなで喜んで活動に参加する。
○自分のやりたい遊びや、親しみをもった友達との遊びを楽しむ。



- 【年 長】 ○園生活を振り返りながら、自分たちで遊びや生活を進める充実感を味わう。
○幼稚園生活が終わることを知り、修了や就学への喜びを感じたり期待をもったりする。

進級・就学に向けて…大きく成長した町屋幼稚園の子どもたち

年長いるか組

「幼稚園でお世話になったたくさんの人に楽しんでもらいたい！」とみんなで話し合い、考えを出し合って水族館を作り、保護者の方やひよこ組、小学生を招待しました。生き物と触れ合えるコーナーや深海の迷路、カフェなど子どもたちの思いが詰まった水族館です。友達と思いを伝え合い、考えたことをどうしたら実現できるか材料や作り方を考えて…。今まで園生活で培った力が発揮されていました。お客さんもスタッフの子どもたちも笑顔がいっぱい！お客さんに喜んでもらい、達成感でいっぱいでした。



年少ひよこ組

絵本「どうぞのいす」のお話をもとに劇遊びをしました。先生や友達と一緒に役になりきって動くことを楽しんでいました。劇の中で動物になりきって、普段楽しんでいる遊びをして遊んでみたり、看板や木など劇に必要な道具をみんなで作ったりして、ひよこ組だけの、子どもたちの大好きなお話になっていきました。いるか組や保護者の方に見てもらい、拍手をしてもらってとても嬉しそうでした。表現参観の後も、役を変えて何度も楽しんでいました。

